

様式第1号（第4条、第5条関係）

誓 約 書

私は、下記の1及び2の事項について誓約します。

なお、下記1の(1)から(6)までのいずれにも該当しません。将来においても該当することのないことを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、契約を解除され、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。また、該当の有無を確認するため、町が庄内警察署に照会することについて承諾します。

記

- 1 役員等（個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表をいう。）が、次のいずれにも該当する者ではありません。
  - (1) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律77号）第2条第6号に規定する暴力団員及び暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（以下「暴力団員等」という。）
  - (2) 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）又は暴力団員等を利用している者
  - (3) 暴力団又は暴力団員等に対して資金等を供給し、又は便宜を供与する等直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、又は関与している者
  - (4) 暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有している者
  - (5) 暴力団又は暴力団員等が経営に実質的に関与している者
  - (6) 下請契約又は資材、原材料の購入契約その他の契約に当たり、その相手方が(1)から(5)までのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結している者
- 2 暴力団又は暴力団員等の不当な要求（金銭要求、物品購入要求、役務提供等）には応じません。また、不当な要求を受けたときは、ただちに庄内警察署へ通報するとともに、町に報告します。

年 月 日

庄内町長

宛

住所又は所在地

氏名又は名称

及び代表者氏名

印